

LPガスCP速報(2020年5月積)

1. 5月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **340**ドル (前月比+110ドル) *原油市況と大幅乖離

ブタン **340**ドル (前月比+100ドル)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が新型コロナウイルス感染拡大により暴落するなか、LPガス需給はインド、インドネシア、中国の堅調な需要（都市封鎖で家庭用需要増加、中国はPDH需要）がある一方で、サウジアラムコは減産で5月積みLPG供給料を削減し需給はタイト感。第3週にはCP先物がプロパン、ブタンともに345ドルまで急騰、プロパン・ブタン格差も解消した。極東CFRも第3週末にはプロパン、ブタン360ドルどころに値を上げた。

全米プロパンは、輸出が中旬に過去最高を記録するなど好調、全米在庫は減少が続いている。在庫水準も前年同期比106.7%まで落ちてきた。なお、都市封鎖によりアジア等の家庭用需要が堅調、プロパン単体からブタン混載への変更もありアジア市場はプロパンタイト化。米モンベルビュープロパンスポット価格は堅調、前月比15ドル上げの170ドルどころ（グラフ②）。

フレート市況は軟化後に反転続伸。中東積みの備船可能船腹が急減、インド、インドネシアの備船需要も複数あり逼迫化。月間平均では前月比3ドルどころ下げている。

ナフサは原油価格に追随、景気失速懸念で急落、月間平均は195ドルどころで、前月比100ドルどころの大幅続落。

バンカーオイルは原油市況に追随して急落した。シンガポールIFO380は月間平均で前月比40ドル安の185ドルどころ、LSMGO（低硫黄マリンガスオイル）は90ドル大幅続落の260ドルどころ、両油種の格差は75ドルに縮小した。

5月CPは前年同月比プロパン185ドル、ブタン190ドル安。原油（アラビアン・ライト）熱量等価換算では、前月に比べプロパン143、ブタン141ポイント上昇、前年同月比ではプロパン129ポイント、ブタン130ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	50.5	46.9	58.6	60.5	54.1
CP先物指標：P	260	260	345	315	295
CP先物指標：B	280	275	345	310	303

② 原油市況等

原油市況は歴史的な大暴落、4月20日WTIは前日比55.9ドル急落の-37.63ドルとNYMEX史上初めてマイナス価格を記録した（グラフ①）。OPECプラスの緊急会合で970万b/dの協調減産が合意されたが、COVID-19感染拡大により世界各国で都市封鎖、移動制限措置が執られ、エネルギー需要が激減、在庫が急増するなか、20日、5月限の納会を翌日に控え、WTIの受け渡しが行われるクッシングの貯蔵能力限界を懸念、投機筋は手仕舞いの投げ売り、実需の引き受けもなく買い手がつかない状況となった。

一方、米国内原油生産量は1,300万b/d超の過去最高水準から1,210万b/dまで減少、製油所稼働率が2008年9月以来の67.6%まで低下し、全米原油在庫は5億バレルを突破し過去最高水準に迫っている。他方、米石油リグ稼働数は原油暴落を受けて急減が続いており、直近で前年同期比53%減の378基、2016年7月以来の低水準。なお、CFTC発表の大口投機玉の買越残高は21日時点では587千枚、前月末から152千枚増加。暴落を受けて安値拾いの買い、期近から期先へのロールオーバーも進んでいる。米株価は原油市況崩壊を受けて急落したが、世界的な経済活動再開を受けて反騰、リスク回避の動きに歯止めがかかっている。

○4月積みアラビアン・ライト（4月1～29日までの想定）は19.00ドル（前月比-18.77ドル）

熱量等価AL100% プロパン155.78ドル/トン ブタン153.64ドル/トン

AL比 プロパン218.26% ブタン221.29%

*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

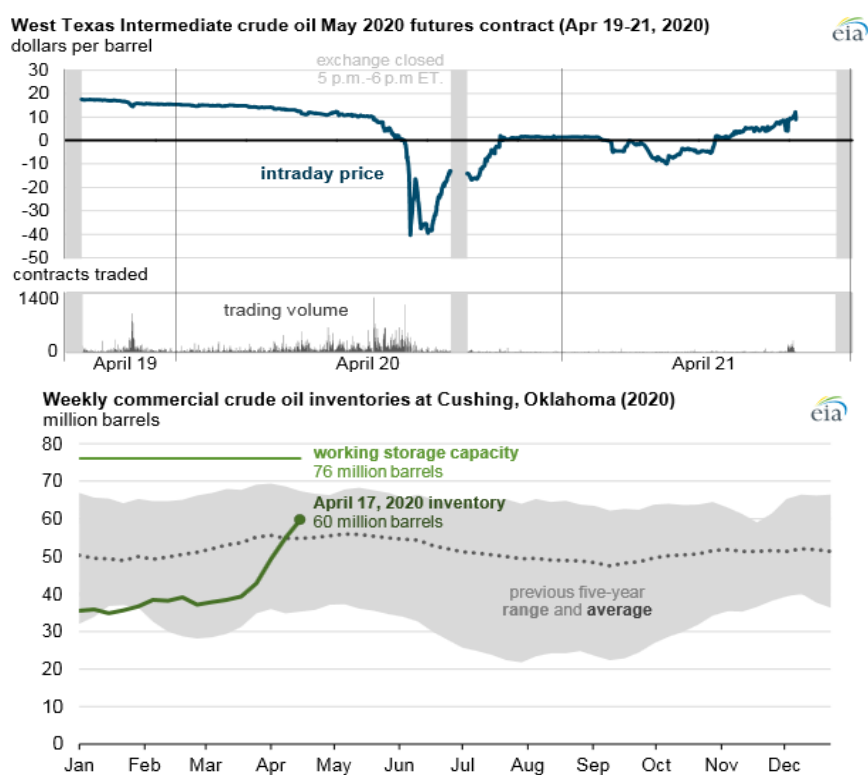
2. 2020年5月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	T T S	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	109.72	31,300	37,700	36,700	-4,500	-7,400	-3,300
②末日締め	108.96	31,100	31,600	30,600	-4,700	-7,400	-3,300

* T T S平均について、①が3月21日～4月20日、②4月1～30日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは3月28日までの価格を基にE I Nで試算（166ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

①WT I 価格推移とクッシング在庫



②MB 価格推移

